

非常事態宣言発令【令和7年10月28日から11月30日まで】

クマ 出没注意!



現在、宮城県内にクマ出没警報が発令中です。村内でも人が襲われる事故が発生しています。

クマによる被害を避けるためには遭遇しないことが重要です。クマ鈴やラジオを鳴らす、一人で行動しない、朝夕の活動は特に注意するなど、基本的な遭遇防止対策を行いましょう。

対策① クマの誘因物を適切に管理

- ・ 栗や柿などの果樹は早めに収穫し、放置しない。（収穫しない果樹の木は伐倒することも検討。）
- ・ 生ごみや食べ物を屋外に放置しない。

対策② クマの生息地にむやみに入らない

- ・ 山はくまの生息地域です。今年の秋は山にクマのエサが少なくクマとの遭遇リスクが高まっています。
- ・ 仕事などでやむを得ず入山する場合は、万全の対策をする。

対策③ 目撃情報に注意

- ・ 新聞等のマスコミ情報や村の防災無線などから目撃情報を入手し、危険なところには近づかないようにする。

クマ目撃等情報マップ⇒



対策④ クマと遭遇してしまったら

- ・ 大声を出したり背中を見せたりせず、ゆっくり後ずさりしてその場から離れる。
- ・ 襲われそうになったら、地面に腹ばいになり両手で首後ろをガードして首や頭を守る。死んだふりは効きません。

クマを目撃した際は、右記までご連絡ください。

○大衡村産業振興課 Tel. 341-8514

○大 和 警 察 署 Tel. 345-0101

○大和警察署大衡駐在所 Tel. 345-2073

大衡村の取り組み

- ・ 全庁的な対策本部設置
- ・ 非常事態宣言発令の期間中、小中学生の下校時間に合わせパトロールを実施。
- ・ 無線放送による注意喚起
- ・ クマ捕獲箱罠の追加設置
- ・ クマ出没注意看板の設置

クマによる柿の木対策

- ・ 柿の実の収穫、除去
放置された柿の実を食べるため民家近くにクマが出没する事例が多く報告されています。地面に落ちた実も含めてすべて収穫・除去しましょう。なお、クマは甘柿、渋柿の区別なくどちらも好みます。
- ・ 柿の木の伐採
収穫が困難な木や放置されがちな木は伐採も検討しましょう。地域で協力して集落内の果樹を整理することが効果的です。
- ・ 幹へのトタン巻き
クマが登れないように幹にトタンを巻く。
爪が掛からないよう縦方向にしっかり固定する。



鳥獣被害対策実施隊 活動のお知らせ

クマやイノシシ、カラス等による農作物や生活環境への被害対策のため、村では鳥獣被害対策実施隊の皆さんに、害獣による被害状況の調査、わなの設置管理、捕獲、地域住民への注意喚起と情報提供等の活動を行って頂いております。

今年は10月28日現在で、イノシシ117頭、クマ7頭、カラス34羽を捕獲しており、被害軽減が図られているだけでなく、地域の安心にもつながっています。

なお、村では有害鳥獣の対策活動にご協力いただける方を募集しており、資格取得の助成等も行っていますので、関心のある方は下記担当までお問合せください。

